



石橋 義雄
(高志会)

市の未来を考え 構想を描け

高速交通体系が必要 関係省庁に働きかける

議員 小山田市長が財政立て直しと中央病院の再生に尽力してきたことを評価し感謝している。これからは政治家として十和田市の未来を考えたい構想も描いてほしい。

市長 企業誘致の成果が出ない要因として、当市には高速交通体系がないことが考えられます。都市構想を構築していく上で、八戸市から十和田市を通じて東北自動車道に通じる路線が必要と考えています。さまざまな手順があります。今後関係省庁に強く働きかけていきます。

所有者と協議し、内諾を得ています。申請書が提出され次第、十和田市文化財保護審議会に諮問します。

議員 穴堰がある土地の所有者が木を伐採するようだが、穴堰への影響は。

農林部長 伐採届が提出された際、水路の管理者である上北県民局に確認したところ、木の伐採は制限されるものではないこと、伐採により水路の崩落及び通水への支障はない旨の回答を得ています。市としても今回の伐採による崩落等の危険性はないと考えています。

議員 鞍出山などの穴堰は新渡戸親子三代の開拓精神を受け継ぐ貴重な財産である。史跡指定等の進捗状況は。

教育部長 鞍出山の穴堰の史跡指定について、土地

議員 十和田バラ焼きゼミナールへの思いは。

市長 バラ焼きゼミナールは独特なパフォーマンスなどで県内外の多くのイベントに出店し、B-1



バラ焼きゼミナールにさらなる支援を

グランプリでも連続入賞するなど、テレビや雑誌で取り上げられ、市の知名度向上や観光客の誘客等、まちの活性化にも大きく貢献されました。当市で開催した北海道・東北の大会や豊川大会でのシルバードランプリ受賞などの活躍は、多くの方々から高い評価を受けています。これまでも若干の支援はしてきましたが、今後も、まちおこしの効果が高く、活性化につながる活動への支援について協議します。

次期中心市街地活性化基本計画の策定を

関係者と協議する



江渡 信貴
(高志会)

議員 十和田市中心市街地活性化基本計画の概要と進捗状況は。

観光商工部長 この計画は「アートの感動を共有する賑わいの街とわだ」を基本理念に据え、市街地整備、都市福利施設整備、公共交通の促進、街なか居住推

進、商業活性化に資する事業を掲げ、平成二十七年三月から平成二十七年三月を計画期間として国の認定を受けています。平成二十四年度に（仮称）稲生プラザ・イースト整備事業と（仮称）駒っこモール整備事業が中止になり、新たに（仮称）教育プラザ整備事業、（仮称）市民交流プラザ整備事業、街なか住宅整備促進事業、都市型共同住宅整備促進事業が追加されました。昨年度までにアートステーショントワダ整備事業、観光駐車場整備事業など十一事業が完了し、今年度は十八事業を実施しています。

議員 商業地区の核となる事業が中止になりバランスを欠いている。この地区の見通しは。

観光商工部長 （仮称）稲生プラザ・イーストの整備を中止した地区は、今後最も厳しい状況です。官庁街通りと中心商店街の結節点である商業コアゾーン地区は、中心市街地活性化の



中心商店街でのストリートフェスタより

ために重要な地区と捉えており、新たな事業計画等が出された場合は協力、支援したいと考えています。

議員 この計画は平成二十六年で終了するが、まだ志半ばである。次期計画の策定を望むが、市長の考えは。

市長 中止になった事業もありますが、（仮称）市民交流プラザと（仮称）教育プラザが着工されたことから、計画目標の達成が見込まれ、にぎわい創出に波及すると期待しています。中心市街地の活性化への取り組みは引き続き計画的に進めていくことが必要であり、今後関係者と協議してまいります。